

## ごあいさつ

国際高等教育院長

大 嶋 正 裕



### 学生の皆さんへ

大学での学びは、高校までとは異なり、自分で学びたいことを選べるのが特徴です。たとえ進路が明確であっても、ぜひ食欲にさまざまな学問に挑戦してください。まだ学びたいことが明確でない場合も、さまざまな分野に触れる絶好の機会です。人間のこと、社会のこと、自然の法則など、多角的な視点から考えることができるのは、大学生の特権かもしれません。この貴重な時間を大切に、将来のための経験を積んでください。

### 国際高等教育院のサポート

国際高等教育院は、皆さんが充実した大学生活を送れるよう、全力でサポートします。まず、大学に入って最初の段階として、学部1・2年次を主な対象に約1,000科目、3,000コマ近くの教養教育科目を提供しています。人文・社会科学、自然科学をはじめ、京都大学には多様な学問が共存しています。皆さんには、専門分野以外の学問にも触れ、多様な問題や学問的方法論を理解してほしいと考えています。そのため、幅広い教養科目や自然科学分野の基礎科目を用意しています。また、科目の多様性に加えて、少人数制の「ILAS セミナー」を多数開講し、教員と直接対話できる機会を提供しています。さらに、「統合科学」という科目では、現代社会における学問の意味について、教員とともに考え、議論を深めます。今年度からは、この統合科学の分類に、主として新入生向けに、少人数セミナーと講義を同一テーマで融合させた「統合型複合科目」を複数開講します。新入生の皆さん全員が履修できるわけではありませんが、今後も拡充し、将来的には新入生全員が履修できるようにする予定です。

これらの京都大学ならではの学びの機会を活用し、積極的に他の学生や教員と対話・議論を重ねてください。そして、「自分の頭で考える力」「思考の方法」「自分の意見を形成する力」を身に付けてください。

### 語学教育と国際経験

国際高等教育院では、語学教育にも力を入れています。英語の少人数クラスや自習教材を活用したリスニング学習など、「聞く・読む・書く・話す」の4技能を向上させるサポートを提供しています。また、英語に限らず、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語なども学べます。さらに、「多文化教養演習：見・聞・知」「海外実地セミナー」と呼ばれる単位付与を伴う海外研修プログラムも用意されています。海外研修を経験した学生の多くは、研修前後で視野が広がって大きく成長していることが観察されます。ぜひ、積極的に挑戦してください。“求めれば道は開かれます”。異なる言語を学び、世界に飛び出しましょう。皆さんが学部4年次や大学院に進学した際には、国際学会で自身の研究成果を発表する機会も訪れるでしょう。その先には、世界を舞台に活躍する未来が待っています。今からしっかり準備を進めてください。

### これからの時代を生きる皆さんへ

皆さんは、生成AIやロボットが社会のさまざまな場面で活躍し始める時代を生きようとしています。大学生活の中でも、生成AIを活用する機会が増えるでしょう。しかし、AIはデータから最適解を導き出すことはできても、「何が正しいのか」「何が人の幸せにつながるのか」を決定することはできません。最終的に判断を下すのは、私たち人間です。技術の進展に伴い、「人間とは何か」「社会とはどうあるべきか」を深く考え、行動することが、ますます求められるでしょう。

### 最後に

繰り返しになりますが、皆さんの大学生活が充実したものとなるよう、私たちは全力でサポートします。何か質問や疑問があれば、遠慮なく声をかけてください。一緒に学び、一緒に成長していきましょう！